

4回目となる美山フォーラムを美山文化ホールで開催。飯塚徹士氏による基調講演は、「都市生活者の今と市場開発への着眼」をテーマに、具体的な企業名を挙げながら企業戦略と消費者ニーズの変化を解説。また、全国の町おこしに成功した事例を紹介し、「町おこしには外部からの評価を取り入れ、若々しさを持った人や物事にとことん死にもの狂いで取り組む人が不可欠」と述べられました。パネルディスカッションでは町内で特産品販売や景観環境保全などに取り組む団体の代表者がそれぞれの活動を報告し、さらなる取り組みへの意欲を語られました。



▲それぞれの活動を報告するパネリスト

「変わらぬ魅力の中に新しい魅力を」

(2/21 第4回美山フォーラム)



▲ライトアップされた桜を見て回る親子ら (大野ダム公園)

おおい 大堰川緑地公園、大野ダム公園でそれぞれさくら祭りが開催されました。大堰川さくら祭りではフリーマーケットと焼きそばなどの軽食が販売され、来場者は咲き始めた桜の下で花見を楽しみました。また、開催初日には蕾が目立った大野ダムのさくらは7日には満開に。土・日曜日には太鼓や琴の演奏、バルーンショーなどが行われ、特産品の販売コーナーや大鍋の無料提供には長い行列ができました。10日には大切な方へのメッセージを込めた花火が打ち上げられ、大勢の観客が咲きほこった桜と季節はずれの花火を楽しみました。

「サクラと花火の饗宴に酔いしれる」

きょうえん

(4/3 大堰川さくら祭り、4/3~11 大野ダムさくら祭り)



▲恒例のさくら祭りを楽しむ人々 (大堰川緑地公園)

「環境にやさしくて
おいしい京みのり」

(3/19 「環境保全型農業推進コンクール」優秀賞)



▲表彰式で賞状を受ける奥村久夫水稲部会長

第15回環境保全型農業推進コンクールで、JA京都園部支店生産振興部会水稲部会の京都園部産こしひかり『京みのり』が優秀賞(全国農業協同組合中央会会長賞)を受賞されました。同部会は、地元で発生する牛ふんたい肥を利用した土づくりを行い、特別栽培米の『京みのり』の生産を展開。地域で大規模な循環型農業に取り組み、年々栽培面積、生産量を拡大させていることが評価されました。奥村部会長は、「受賞を励みに生産拡大、品質向上に取り組みたい」と意欲を語られました。